



議会だより

平成26年 1 月 31 日 発行
 発行 青森県上北郡横浜町議会
 〒039-4145
 青森県上北郡横浜町字寺下35
 電話 (0175) 78 - 2111
 F A X (0175) 78 - 2118
 編集 議会広報編集委員会



有畑小学校・大豆田小学校児童
 一般質問議会傍聴

● 第 4 回定例町議会	P 2 ~
議案審議 補正予算 ホタテガイ養殖残渣処理補助金200万円可決		
● 一般質問 1 人登壇	P 4 ~
沖津正博議員 農政の激変に直面し、町はどのような考えで農家を支援していくのか 原子力事故発生した場合、実効性のある避難は可能か、課題、対策は など		
● 第 2 回臨時議会	P 7 ~
議案審議 旧横浜中学校解体工事請負契約締結 補正予算 百目木漁港流砂処理工事費300万円可決		
● 常任委員会報告	P 8 ~

平成25年 第4回定例町議会

平成25年第4回定例町議会は、11月4日(月)から6日(水)までの3日間の会期で開催し、2014年度地方財政の確立に関する要請の採択ほか、25年度一般会計補正予算他7案件及び要請等2件、合計10案件を慎重審議し原案のとおり可決並びに採択しました。

一般質問には、沖津正博議員の1人が登壇し町当局の考えをただしました。

審議した 主な議案

(原案全会可決)

◎青森県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体数の増加及び青森県市町村総合事務組合規約の変更

弘前地区消防事務組合が構成団体として加入することに伴い、規約を変更するもの

陳情

◇「社会保障制度改革推進法」の廃止を求める意見書の提出に関する陳情書

○提出者

青森県社会保障推進協議

会

会長 大竹 進

議員配布としました。

意見書

◇2014年度地方財政の確立に関する要請を求める意見書

○提出者 大澤弘悦議員

賛成者 澤谷松大議員

賛成者 秋田雅敏議員

(原案の通り採択・可決し審議結果を提出しました。)

提出先

内閣総理大臣、副総理、

財務・金融大臣、総務大臣

内閣官房長官あて



一般会計補正予算

漁業協同組合からの
ホタテガイ残渣

処分料助成予算可決

《補正予算》

◇一般会計

既定の予算総額から歳入・歳出273万8千円減額
し予算総額歳入・歳出合計41億6,569万2千円

◎歳入の主なもの

町税・個人現年課税分	791万1千円増額
たばこ税	238万円増額
自動車重量譲与税	250万円減額
地域の元気臨時交付金	884万円増額
公共施設等解体事業	2,600万円減額

◎歳出の主なもの

ホタテガイ養殖残渣処理補助金	200万円計上
公共施設等解体工事費	2,600万円減額
(コミュニティセンター・旧加工センター・ 健児会館・旧こなみ保育所他)	



子ども医療費育成事業扶助費	300万円増額
財政調整基金積立金	2,905万9千円減額
J-アラート自動起動装置改修委託料	128万1千円計上

J-アラート自動起動装置ってなあに？

弾道ミサイル情報、津波情報、緊急地震速報等、対処に時間的余裕のない事態に関する情報を、人工衛星を用いて国（内閣官房・気象庁から消防庁を経由）から送信し、町の防災行政無線等を自動機動することにより、国から住民まで緊急情報を瞬時に伝達するシステム

◇特別会計

▽国民健康保険特別会計

既定の予算総額に歳入・歳出それぞれ5万円を追加し予算総額歳入・歳出合計7億6,677万4千円

◎歳入の主なもの

繰越金を増額

◎歳出の主なもの

前期高齢者納付金の増額



▽介護保険特別会計

既定の予算総額から歳入・歳出それぞれ54万3千円減額し予算総額歳入・歳出合計6億8,229万円

◎歳入の主なもの

介護給付費負担金を減額

介護給付費繰入金を増額

◎歳出の主なもの

居宅介護サービス給付費を減額

施設介護サービス給付費を増額



▽後期高齢者医療特別会計

既定の予算総額から歳入・歳出それぞれ67万8千円減額し予算総額歳入・歳出合計4,348万7千円

◎歳入の主なもの

保険基盤安定繰入金の減額

◎歳出の主なもの

後期高齢者医療広域連合納付金の減額



▽百目木地区農業集落排水事業特別会計

既定の予算総額に歳入・歳出それぞれ46万7千円追加し予算総額歳入・歳出合計2,648万7千円

◎歳入の主なもの

繰越金を増額

◎歳出の主なもの

修繕費の増額



▽下水道事業特別会計

既定の予算総額に変更はない

◎歳入の主なもの

一般会計繰入金を減額、繰越金を増額

◎歳出の主なもの

公共下水道整備費の財源付け替え



▽水道事業会計

第3条予算収益的収入	
水道事業収益	492万1千円増額
第3条予算支出	
水道事業費用	146万9千円増額

一般質問



沖津 正博 議員

質問一
「生産者調整」では困る。
農業を続けられる
道筋を

政府はTPP参加による完全自由化をにらみ、農家に自立を迫りコメの減反廃止とその補助金の打ち切りを表明した。来年度には日本型直接支払交付金制度を新設し、米粉用や飼料用のコメの転作に取り組みば収入が減らないような制度を目指すとしている。

① TPPをはじめとする今回の農政の激変とそれが示した方向をどのように捉えているのか。新たな

局面を迎え、町は今後どのようにして農家を励まし、モノ作りを支援していくのか。

② 近年の農家の所得や町全体での減反補助金の額、農家戸数の推移や後継者の育成状況、稲作・野菜・畜産の各部門の売上げなど農業の現状と課題をお聞きしたい。

答弁(町長)
対策の情報が
まとまり次第
町の対策として
考える

① 所得倍増や日本型直接支払制度等としているが、まだ具体的にわからない状況にある。併せて安心で安全な食料確保、中山間地域における所得向上への道筋、耕作放棄地の拡大等が懸念される。来年1月以降に具体的な説明会もあるのでその状況

により判断したい。

② 農家戸数は年々減少傾向にあると思われる、農林業統計では5年毎に公表しているが農家所得は出していない。

コメの直接支払交付金は概算で申請者数158人・1873万円の半額となるため約937万円の減額となり1戸あたりで約5万9千円の減となる。

25年度の各部門の売り上げは確定していない。JA横浜支店23年度売り上げ比較では、稲作122%5027万円・畑作95%3億935万円・畜産104%5億1329万円となっている。町の農業の現状は高齢化や後継者不足、又半農半漁のため手間のかかる作物を作付しにくい状況にある。JAと連携し所得の上がる作物を重点的に考え、支援していきたい。

再質問

① 飼料米の転作を希望すればそれができる状況にあるのかどうか
② 農家の担い手はどうか

答弁(西浜産業振興課長)

① 25年度の作付戸数は2戸・面積が5541㎡。県での次年度対策の説明会が1月以降の開催予定。具体的なことは未定。

② 戸別所得補償の経営安定推進事業により人・農地プランを作成している。地域の中心となる経営体は68名。

再々質問(要望)

担い手に対する
助成、育成を
要望したい

答弁(町長)

中山間地域であり耕作面積が少ない。集落営農組織づくりが必要である。畑作に補助金を出してきた経緯がある。生産費を割る場合には水田作付け農家の助成を検討し、町の政策の一環として考えていきたい。



質問一

原子力問題の認識の
変化と避難計画を
どのように考えるか

全て原発が止まっている
現在でも電気は足り、経済
も混乱していない。最も安
全なのは、再稼働せずに廃
止することである。再稼働
問題が生じたときは住民説
明の理解が必要であり、町
との安全協定の妥当性が問
われてくるのではないか。

町の改定防災計画原子力
編では、重大事故を想定し
避難基準を定めている。避
難が現実となれば限られた
道路等により、大混雑とパ
ニックが予想される。

①町民の安全が確保される
実効性のある避難が可能
かどうか。

②今どのようなよう
な課題や対
策に直面し
ているのか。



答弁（町長）

国、県の防災計画
修正により
町の防災計画の
見直しが必要となる

①現在県から示された避難
先は津軽方面で国道27
9号線及び国道4号線
を利用して避難すること
になっている。このルート
を利用した場合の渋滞予
測を県で作成中。両国道
が地震による陥没等での
避難や別のルート、県南
方面への視野に入れ県、
近隣市町村と協議しなが
ら検討していきたい。

②基本的には自家用車での
避難を想定。避難が困難
な住民に対しては、町公
用バス、事業者バスを確
保する。県ではバス協会
を通じて事業者へ依頼し
ている。安全に避難させ
るかを最優先と位置づ
け、役場内に避難計画を

策定のプロジェクトチ
ームを組織し作成したい。

再質問

①避難計画は
いつまでに作成して、
いつからの実行段階に
なるのか



答弁（田中企画財政課長）

現在県で避難計画を作成
し、そのおおまかな説明が
年明けとなっている。県か
ら示された後、町で作成す
る。計画を作成した段階で
即実行に移す形としたい。

②町の避難訓練の
評価、反省は
どのようなものか

答弁（副町長）
防災訓練は3回開催して
いる。その都度課長会議の
中で反省会はやっている。

今後は町内会を巻き込んで
実施したい。

再々質問

東通原発との安全協定や
再処理工場の安全協定等も
立地並みの安全協定が必要
ではないのか。7市町村会
議などではそのような話
はないのか。県でも30kmを
含めた安全協定の動きはあ
るのかどうか。

答弁（町長）

7市町村会議はすでに開
催されている。会議の中で
は隣接市町村までの安全協
定締結の議論は行われてい
ない。30km圏内の隣接市
町村でも、安全協定が締結
されるよう会議の中で要望
していきたい。

※会議の構成市町村

むつ市 大間町 東通村
佐井村 風間浦村
六ヶ所村 横浜町

質問三

町道新町旭町

線泊街道踏切の

拡幅整備を求める

この踏切は非常に交通量も多く、又、幅員が狭く一方で待機しなければ交差できない状況である。下北縦貫道が横浜バイパスに接続されれば、さらに交通量も



増えることが想定される。

防災上六ヶ所村と当町で県道179号線（泊陸奥横浜停車場線）の整備を課題としているが、この踏切はこの県道に直通するところでもある。踏切の拡幅整備をお願いしたい。
（六ヶ所村泊～横浜町横浜を結ぶ14.8km）

答弁（町長）

協議開始～工事着手まで三年・事業費は全額町負担の財政事情を考慮しながら考える

平成22年3月にJRで踏切敷板の交換、融雪装置の工事を施工しているが、拡幅工事はしていない。一方の車が待機して交互通行している状況にある。踏切拡幅工事は、協議開始から工事着手まで期間概ね3年程度、事業費は全額町負担となり約9千万円程度要する。
下北半島縦貫道路が横浜バイパスに接続、統合横浜小学校が開校となれば今以上の交通量の増加が予想される。交通安全対策を課題と考え、国の補助制度、町の財政事情を考慮しながら事業実施に向けて検討する。

質問四

ホームページは町の顔

充実を求める

観光や暮らし、産業、防災等町が町民に周知したいもの、町民が知りたい情報は広報よこはま以外にもあるものと推察する。町外の方への情報発信は重要である。ホームページは町の顔。人とのつながり、財産である。来年度から光ファイバーが運用される。ホームページを充実させて情報発信や公開が住民の暮らしに役立つよう要望する。

答弁（町長）

操作の取得機会を設け 充実させる

青森県町村会魅力発信事業助成金を活用しシステム変更をし、25年度より一般公開している。

システムへの情報入力



再質問

町のホームページに 掲載する予定や 考えている 企画などあるか

答弁（副町長）

中身がまだ充実していない。ある程度決まったところを更新した後で、又独自のホームページを考えていきたい。

第2回臨時町議会

旧横浜中学校校舎解体工事

請負契約を締結

十一月十四日開催し、議案二件を慎重審議、全会一致で原案のとおり可決しました。

審議した議案

◎工事請負契約の締結

工事名

旧横浜中学校校舎等解体工事

工事金額

1億4490万円

契約の相手方

横浜町字百目木


九十二番地三

株式会社小川ボーリング

建設工業

代表取締役 小川ふみゑ

十一月五日付けで仮契約を締結した工事を議会議決に付すもの。



選挙

下北地域広域行政事務組合
議会議員

沖津正博議員(指名推薦)



欠員となった組合議会議員を1名選挙するもの(町選出議員1名)

選任報告

原子力対策特別委員会

委員長 飯田弘志議員



副委員長 小川和男議員
欠員となった原子力特別委員会委員長の選任に伴うもの(他委員は議員全員)

《補正予算》

◇一般会計

既定の予算総額に変更はない。

予算総額歳入・歳出合計41億6,843万円

百目木漁港流砂処理工事費可決 利用者の安全操業を期待 強い西風を受ける港にやまない流砂



百目木漁港流砂処理工事費 (新規)
300万円計上



◎歳出の主なもの

財政調整基金積立金	643万4千円減額
産業廃棄物処分委託料	93万4千円増額
合併処理浄化槽設置整備事業費補助金 (単独費分)	250万円増額
道路維持改良費登記手数料	200万円減額
河川用地測量業務委託料 (新規)	200万円計上

常任委員会の活動

十二月五日開催

【産業民生常任委員会】



委員長 秋田 雅敏

☆産業振興課☆

担当課より報告

○農作物、水産関係の状況
農作物は、春先の低温の影響はあったが、その後の高温により快復傾向にある。

水稲は、夏場にかけての干ばつの影響で登熟不足の原因となり、平年と比較し反収は減少した。

品質はカメムシ等の被害は少なく良好な結果となった。一等米比率は87%(J A横浜町最終値)



加工バレイシヨは、平年に比べ疫病、軟腐病の発生が少なく品質が良かった。

水産関係では、22年、23年は高水温の影響により被害が甚大だったため、平年の21年度と比較。

ホタテ全般では水揚げ数量で27万6kgの減。金額では約2億5千万円の増。

水産物全体では数量では27万2000kgの減。金額では2億838万円の増。

○ホタテガイ残渣処理現状報告

ホタテガイ残渣処理検討委員会を12月議会終了後に開催の予定。

月別、年間の残渣予想に対する仮置き場の位置と規模、漁業者でできる範囲、最終処分場の利用範囲、「クリーンペアはまなす」の利用範囲、その他の残渣処理の問題等、2月、3月まで方向性を見いだしたい。

◎質問

青森県主催のホタテガイ残渣処理会議で市町村の考え方を確認している。(仮置き場、排せつ整備、補助事業、単独事業)

町の考え方はどのようなものか。

回答

市町村の意向、考え方を、電話で聞きたいということ、この会議は開催しないこととなった。町の第2回

検討委員会の協議後ということ、で回答した。

むつ湾漁業振興会の会長(三津谷廣明会長)が町に現状説明に来た。当初は県でも施設を1つという考えだったが、まとまった施設をつくるのは無理。各町村、漁協で対応いただきたいという内容であった。そのため町の検討会を立ち上げ協議している段階だ。

◎質問

近隣の町村の残渣処理の情報はどうなものか。

回答

野辺地町は単独事業で、大きな仮置き場を建設するような話で、完成したら検討委員会で見学したい。事業費が1400万円と聞いている。仮置き場で塩分、水分を除けば、最終処分場で今後十年位引き受けるスペースはあるようだ。

平内町は処理施設はある

が、維持費が年間数千円かかるということ、検討している。

県内青森市等でも仮置き場、悪臭関係等検討している状況だ。

◎質問

町の肉用牛品評会を開催しなかったのはなぜか。



回答

町の肉用牛農家は高齢化が進み頭数も激減状態である。町で開催、七戸で開催となると搬入労力、経費等の負担となる。七戸畜産農業協同組合の要望もあり、町肉用牛改良組合総会で決定し、町の開催はなかった。

◎質問

来年度の菜の花フェスの計画はどの位進んでいるか。



回答

今月中に実行委員会を開催し、25年度反省、26年度計画の協議をしたい。25年度と同様の規模の予算で開催したいと考えている。参加賞、ゲストランナーの派遣等実行委員会の中でつめていきたい。

◎質問

横浜町森林組合の現状はどのようなものか。

状況把握しながらこれからも報告いただきたい。

回答

破産管財人が森林組合の財産を整理中。町出資金は戻らないだろうという内容。森林組合は土地、建物等財産もあるので、管財人がどのように処理するか見守っていくしかない。

☆農業委員会☆

報告事項

農地の移動状況について
農用地集積、所有件移転



☆建設水道課☆

報告事項

除雪事業計画の説明
(計画の策定方針、除雪路線等)
雪を捨てる場所がなくなる前に早め対応する。

◎質問

百目木集落排水事業の補正予算の内容はどのようなものか。

回答

歳入は24年度から繰り越した分51万3千円を繰越金として計上。
歳出は流用調整ポンプ汚泥引き抜きポンプの交換修理・中継ポンプの操作盤が腐食のため、漏電防止のため対処するもの。

◎質問

本町でも融雪溝が整備されていない箇所がある。事業実施の町の考え方はどうか。

回答

融雪溝は本町新町北はずれから旧営林署辺りまで設置している。今年県でポンプ工事をし、この調整のため試験運転中である。
融雪溝のない地区では廃雪回数を増やし、廃雪強化という形で対処したい。

◎質問

南地区で除雪しているのに本町地区で除雪しないこ

とがある。生活道路線全域除雪して欲しい。

回答

町内でも降雪量の差がある。吹雪による雪溜まりは別として、今年から二人のパトロール判断で考えている。町では基本的には雪が降らない所は除雪しなくても良い、という判断を持っている。



☆健康福祉課☆

報告事項

○一月から十一月まで死亡は83名、出生は20名

○介護保険制度改正の検討状況

(社会保障審議会介護保険部会)

○子ども・子育て支援新制度(国の案)

○人口動態(死亡、出生状況)

○予防接種、よこはま温泉年末・年始営業等

◎質問

報告の中で「特別養護老人ホームの入所を介護3以上の中・重度に限定」とあったが、「介護3」とはどのような状態か。

回答

寝たきりの一歩手前くらい。

施設の状態をみると、介護度1から3が15%、3以上では85%が寝たきり、4あるいは5程度ではほとんど寝たきりで自分では生活できないような状態。

◎質問

町の特別養護老人ホーム(なのはな苑)では町外の方の入所は何人位か。

回答

今現在百人入所しているが実数は捉えていない。待機者の数では84名のうち町外36人町内53名。

◎質問

子宮頸ガンの予防接種数が4名と報告されているが、ワクチン接種による影響や副作用などの報告はあるか。

回答

今現在報告はない。

◎質問

昨今、子ども、幼児虐待等報道されている。当町の現状はどうか。

あのようなことをする親の心境、風潮はどのようなものが考えられるのか。

回答

虐待の定義の中では手をあげて体を傷つけるだけでなく、心を傷つけるケースもある。夫婦喧嘩を子どもに見せることも虐待。1、2日親戚、知人宅に回避して時間を持ったというケースはある。

各学校、施設から定期報告をいただき現状把握している。今のところ、大きな問題のある子どもはいない。

保護者の子どもに対する対応、子どもを育てる前の親、保護者を指導しなければ

ばならない部分が多々あるのではないか。

訪問指導しながら、未然に防ぐことが虐待予防につながるのではないか。

◎質問

死亡による人口減少と出生児の差が著しい。

5年、10年後の人口動態のシミュレーションをしてほしい。

回答

町総務課で「少子化・定住化対策検討委員会」を設置し、内部検討会を開催。その中で推移を見てみたい。

【総務教育常任委員会】



委員長 澤谷 松大

☆教育委員会☆

◎質問

補正予算として横浜小学校管理費賃金が計上されている。この内容はどのようなものか。

回答

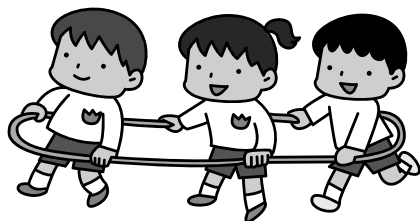
正職員の用務員が休暇中のため、代用臨時職員の賃金の計上。

◎質問

パソコン設定料の内容はどのようなものか。

回答

小中学校教員用パソコンソフトXPからウィンドウ



ズ7に切り替えによる設定料。

◎質問

冬期間の横浜中学校スクールバスの運行を本町生徒も利用できないものか。検討できないか。夕暮れも早く特に女子生徒には危険な思いがある。検討していただきたい。

回答

児童生徒がスクールバス通学することで、玄関から玄関までということ、子どもものの体力が落ちているのは各学校長の話でも明白。冬場の安全と、子ども達の体力の問題を含め、定例教育委員会等話し合いの場をもち慎重審議したい。

☆税務課☆

報告事項

○パソコンウインドウズXPのサポート終了に対応し、エルタックス関連機器

を更新したい。

(エルタックス関連機器更新業務委託料を補正予算計上予定)

○特別徴収通知書(個人用)の記載内容が見えないように様式を変更したい。

(特別徴収通知書変更対応業務料を補正予算計上予定)

○町税等の徴収状況

(十月末)

◎質問

固定資産税(現年分)の徴収率が高い。償却資産の関係か。

回答

単純に償却資産だけとは限らないと思うが、全体的にホワイトファームの関係が増えている。

◎質問

町税、国保税の徴収の順位はあるのか。

回答

現年度分が第一優先。税目では国保税、町税、固定資産税、軽自動車税の順位。あくまでも過年度分より現年度分とし、新しい滞納分を作らないというのが原則の考え方で実施している。

☆町民課☆

報告事項

○ハチ(蜂) 駆除の状況

25年度から駆除費用は全額町負担となった。11月までで36件。駆除費用は、一軒1万3千円(特殊な箇所は1万6千円)



○26年度から国保税の限度額が4万円引き上げの見込み。

国社会保障審議会で提案されているもの。内容は現

在の限度額として、基礎分

5.1万円、後期支援分1.4万円、介護納付金が1.2万円分となっている。

これを後期支援分と介護納付金をそれぞれ2万づつ増額し、限度額合計で8.1万円とするもの。

同様に後期高齢者医療保険料限度額も2万円増の5.7万円となる見込み。

☆企画財政課☆

報告事項

○東京都国立市町有地の処分について
(面積は約53坪・175㎡)

○JA十和田おいらせ横浜町支店跡地の購入について
11月2日から26年3月31日までは土地の管理を含め無償貸与していただいている。

(職員駐車場として利用)
JAでは公募せず土地を町へ売却したいと考えている。駐車場として利用する

ことを考え、売却提示額が予算と合えば取得したい。



☆総務課☆

◎質問

「がんばる団体活動助成事業」、「がんばる町内会活動助成事業」の件数はいくらか。

回答

この事業は今年度から、企画財政課担当となった。それぞれ3団体と8団体。どちらも1団体の増となった。

「統合横浜町小学校 建設特別委員会」

十二月四日開催



委員長 澤谷 松大

新横浜小学校の建設予定地を視察しました。

建設特別委員会で設計担当者の説明を受け、図面と現地の距離幅を合わせながら校舎、体育館、給食センター、グラウンドの配置を確認しあいました。

建設予定地

字林ノ後32番地1

(旧横浜中学校の敷地です)

① 建築規模・構造

小学校 鉄骨コンクリー

ト2階建て

体育館 鉄骨造平屋建て

② 給食センター

鉄骨造平屋建て

学校より1年遅れ

(29年4月開設予定)

③ 概算予算

約27億千7百万円(消費税相当額含)

費税相当額含)

旧横浜中学校解体工事や

校舎・体育館・給食セン

ター建設工事グラウンド整備

工事その他経費を含む)

◎質問

旧横浜中学校跡地に建設

予定だが、横中があったこ

との記念となるようなモ

ニユメントを設置して欲し

い。

回答

旧横浜中学校に植林のナ

ナカマド、ケヤキ、木蓮な

ど11本程度の移植を行い

記念の足跡としたい。

専門部会において検討し

ている。



◎質問

校門から正面玄関までの

距離が長すぎる。子ども達

の登下校の姿が給食セン

ターの視界に入り見えにく

いのではないか。

回答

子ども達の安全確保がで

きるよう、視界を明瞭に捉

えて貰えるよう考えて行き

たい。

◎質問

校舎と体育館のつなぎ廊

下の距離はどれ位か。

回答

校舎と体育館の距離は7

mで設定。建築基準法の制

約、消法から体育館と校

舎を別棟扱いしたいことも

有り7mで設計したも。

渡り廊下を接続する校舎

側に、特別支援学級を2ク

ラス設置した。その採光も

あり体育館の離れを決め

た。

議会を傍聴しませんか

町の動きを知るよい機会です。

12月定例会の傍聴者は27人でした。

次の定例議会は3月(第1回定例議会)予定です。

みなさんの傍聴をおまちしております。

(詳しくは議会事務局まで)

TEL78-2111 内線430、4311

みなさんの声をお聞かせください

町民の皆さんに親しまれる紙面づくりを目指し、ご意見、ご要望(傍聴された方のご意見も合わせて)お待ちしております。

広報編集委員会

TEL78-2111 内線430-431

2014 菜の花フェスティバル inよこはま

主催/横浜町 主催/菜の花フェスティバル実行委員会

5/17(sat) 5/18(sun) (主催:横浜町)

(主催:横浜町商工会) ●第24回 参加申込締切:平成26年3月28日

●ステージショー ●よこはま菜の花マラソン大会 (参加賞:大会特製スポーツタオル)

●ビンゴゲーム ●ステージショー ●特産品無料配布

●特産品販売 他 ●ステージショー ●特産品無料配布

菜の花大迷路:開花宣言~開花期間中の開催

東北電力 日本原燃 RGS リサイクル燃料貯蔵 日本ホワイトファーム株式会社
 有限会社信用金庫 LAWSON 日本酒造 日本酒造 日本酒造 インターファーム株式会社
 日本酒造 日本酒造 日本酒造 日本酒造 日本酒造 日本酒造 日本酒造 日本酒造